

国際自動車整備科

2026年度 授業計画

時期	1年C巡	単元	実習	教科名	基礎整備C	
科目	実習	教科書等 持参品	内製テキスト		発行日	2026.3.18
			授業ノート			
総時限	59時限				教科	相馬 正嗣
総時間	70.8時間				担当	添田 和伸
単位数	2					

1. 実務経験のある教員による授業科目 該当

自動車整備士として自動車整備全般の実務経験がある教員により、自動車に関する各装置について指導する。

2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）

- ①自動車に触れ、各部・各装置の名称、役割、作動を理解する。
（出身国によっては、乗用車に触れた経験がない学生もいるので）
- ②日本語による説明にて内容を理解する。
- ③教材の分解を通して、工具の取り扱い、安全作業を理解する。

3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）

- ①自動車の各部・各装置の名称、役割を覚える。
- ②自動車の各部・各装置の取り扱いを覚える。
- ③自動車の各部・各装置の構成部品・操作方法から日本語（自動車用語）を理解する。

4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）

テキスト、授業ノートから出題

- ①問題文のひらがなに適する漢字を語群から選び記入させる。
- ②穴埋め問題を語群から選び記入させる。
- ③日本語での問いに、日本語で解答する。
60点以上で合格

5. 準備学習

日本語トレーニングの適宜実施

6. 学修時間と単位

本科目は、1単位あたり45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としている。

1単位の修得に必要な学修時間の目安は、30～45時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）15～0時間である。

